

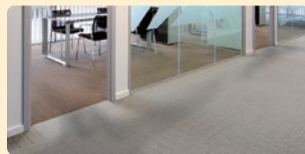
「リンレイ」定期清掃(洗浄作業)“^{ゼロ}0”を実現するカーペットメンテナンスシステム

パイルコーティング機能によるアンチエイジングメンテナンス



■新規施工のカーペットを10年以内に張替えていませんか？

- ・歩行が集中する場所に獣道ができてしまう
- ・歩行によってカーペットパイルが擦り切れしてしまう
- ・定期洗浄であまり汚れが落ちない
- ・定期洗浄できれいになるが、すぐに汚れてしまう



歩行動線の汚れが目立ち、けもの道となっている状態

これらの原因は…

「バキューム不足」と「洗浄作業」が原因かもしれません!!

バキューム不足とは

欧米では“アップライトバキューム”が普及し土砂の堆積を防止しています。しかし日本では、**土砂回収率の低いコードレスバキュームやハンディバキュームが主流**であり、バキューム頻度も少なくなっています。そのため、カーペットパイルが押し潰され土砂回収率の大幅な低下によって汚れが堆積・除去しにくい汚れに変化し、更に土砂の付着したカーペットパイル同士の擦れによって損耗が促進され、**カーペット寿命(張替え周期)が極端に短くなります。**

洗浄作業って？

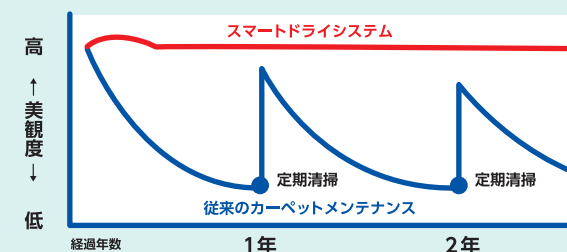
バキューム不足のカーペットを洗浄する場合、汚れが激しいため、より洗浄力の高い洗剤を選択してしまいます。その洗剤がカーペット汚染を急速に進行させる原因になっている可能性があります。また、**環境配慮型の洗剤では汚れを完全に落とさきれないばかりか、洗剤残留成分が汚れを抱き込み再汚染する場合があります。**

■カーペットの汚れ分析結果



カーペットが汚れる最大の原因は、歩行等によって持ち込まれた土砂などの汚れの蓄積で、その80%以上が乾質系の汚れであると言われています。

新規オフィスビルにおける従来のカーペットメンテナンスとの美観度の比較イメージ



スマートドライシステムとは、“ビルのロングライフ化”を実現するカーペットメンテナンスシステムです。

従来のポリッシャーによる洗浄作業では、美観維持は不可能です。スマートドライシステムは、カーペット用美観維持・向上剤「ドライピッカー-M」と日常のバキューム作業だけで高い美観を維持します。

お試しいただきたいのが…

「リンレイ」ドライピッカー-Mの パイルコーティング機能

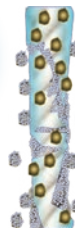
パイル表面をコーティング

ドライピッカー-Mが乾燥・固化しパイル上に定着。パイル表面定着以外にも、汚れを包み込む様にしてパイルから離れやすい状態に乾燥。



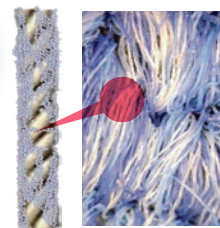
ドライウォッシュ効果

ドライピッカー-Mの繊維表面への電荷吸着作用と物理的に破壊されやすい構造特性により、歩行やバキュームによって土砂がパイルから離れやすい状態になる。



ドライウォッシュ完了

土砂と共にパイルから分離したドライピッカー-Mは、パイルへの強い電荷作用で再び吸着し、パイルを覆うように残り、効果を持続させる。また、この状態になると、防汚効果を発揮し、汚れにくい状態を維持する。



新規施工カーペット 6ヶ月後の状態

パイルコーティング 防汚加工+



防汚加工のみ

新規施工のカーペットは防汚加工(撥水撥油)されていますが、これだけでは土砂対策は不十分です。**パイルコーティング機能を発揮させることでバキュームだけで美観維持ができます。**

パイルコーティング機能「ドライピッカー-M」とカーペットスーパージ「RCS-400」の組み合わせによって、洗浄作業をせずに高い美観を維持することが可能です。

■スマートドライシステム導入事例

土砂の持ち込みが多い現場や洗浄する時間が十分に取れない現場、など多くの現場に施工されています。

